特定非営利活動法人 島の風

～島のこしが島おこし～

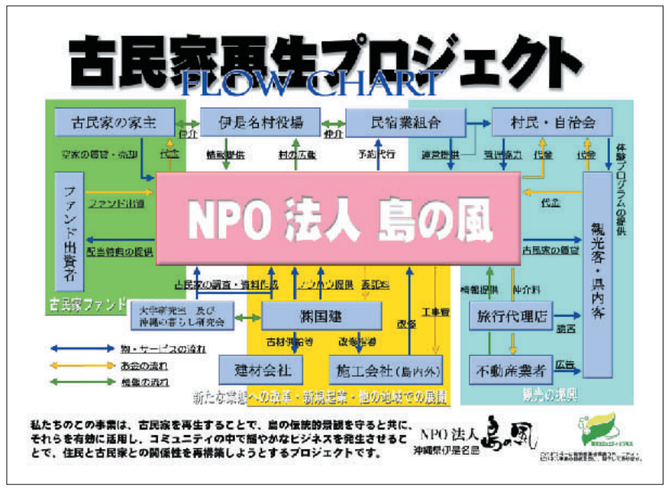
■特徴・ポイント

・地域をそのままの形で残すことを、逆に地域の活性化の目的とする
・商品作りをせず、むしろ観光客を教育するというアプローチのマーケティング
・島民が自分達だけで作業をすることで民家を再生する

■事業概要

沖縄本島の北側にある小さな島に住む人達が、そこに残っている沖縄の古民家を再生し、コテージとして運営を始める。現在は2棟を再生し、今後5棟を目標に取り組む。また、商品提供型の観光ではなく、運動提案型の観光を提案し、広く受け入れられている。これらの事業を、すべて島民だけで展開する「コミュニティ・ツーリズム」（観光版のコミュニティビジネス）として注目を集めている。

古民家再生プロジェクトの全体像



■ものを売るのではなく運動を売る

島の風代表である納戸（のと）さんのマーケティングは極めてユニークだ。拡大しないためのマーケティング、専門的に言うと「ディマーケティング」を行なっている。このマーケティングのキーワードを伺うと、「来るなということだ」という答えが返ってきた。これは、大企業の論理に巻き込まれてしまい、次々と観光客を呼び込み、商品を提供していくという体制になると、島の生活や文化が破壊されてしまうという懸念があったためだ。それで破壊されてしまうと、観光としての魅力がなくなり、誰も来なくなってしまう。このような事例を多く見てきたがゆえに、観光客を呼ばないで、むこうから来た人だけを受け入れていくことを方針とした。また、来た人についても、その人のやりたいことを提供するのではなく、むしろこちらにあわせた過ごし方をしてもらうことにした。

これが、逆に話題を呼び、多くの取材が訪れ、観光客にとっても人気スポットになった。実際に、こちらに合わせない観光客、宿泊客などは叱って、「ここに来るのは10年早い」などと言うこともあるそうだ。このような形で、何らかの観光資源を売るのではなく、観光に関する新たな運動そのものを売っているのが島の風の特徴だ。

■地域の人達がついてこられるレベルで

納戸さんは、もともと島の出身者ではない。外部からの移住者だ。その外部者が、ここまでの取組ができるようになるまでには、それなりの時間をかけている。最初の10年間は、ダイビングショップを経営しながら、ただ島の様子を見ていただけだと言う。10年くらい経つと、少しずつ島の若い人から「何か島を救う方法がないか」と相談を受けるようになった。そこから、夜な夜な集まって、どうするかの話をし始めた。そのときに、「将来どんな生活をしたいのか？」と聞くと、「今と変わりたくない」という答えが返ってきた。これがヒントになり「島のこしが島おこし」というキーワードにつながったそうだ。また、そのときに、「自分達自身が変わらないと、逆に外から変えられてしまうので、生活を変えたくないなら、自分達を変えよう」ということも伝え、そこから活動が始まった。

第一棟目の古民家改修にあたっては、お金をかけずに取り組むことに気を付けた。お金がかかり過ぎると、島の人達がついてこられないからだ。お金をかけないために、材料だけを買ってきて、実際の工事はすべて島の人達だけで行った。完成までに半年かかったが、自立的に事業をやっていくという意識はかなり高まったという。

■次の事業に向けて

今は、大型で築120年という建物を、古民家レストランとして再生しようとしている。様々な方向に手を広げるためには事業が成り立つための体制をしっかりと作っていく必要がある。今は20人くらいで活動しているが、その中に5人の中心メンバーがいる。その人達には、島の外もしっかりと見せるため、他の取組を見学させて、できるだけキーパーソンに会わせるようにしているという。

大手の旅行代理店などからもアプローチがあるが、今はそのようなところと提携する気持ちはないと言い切る。まずはコテージとして5棟の古民家再生ができれば採算が取れるようになる、その5棟が最大の目標だ。その後は、10棟に増やし、後からの5棟を他の企業に任せるか、島で新たに旅行代理店を立ち上げるか、その時に考えるということだ。

今も365日働いている納戸さんだが、毎日やっていることは仕事ではないと思っている。島がそのままの形で活性化していくことを見るのが何よりの楽しみだそうだ。

自分達で改修した1棟目

■事業者からのメッセージ

「小さな島の小さな挑戦」をテーマに進める私たちの古民家プロジェクトは、再生古民家という箱づくりの活動ではありません。美しい島をつくること、美しい島を守ること、美しい島であり続けること、その活動そのものが観光資源として有効に機能することを実証する運動であり、島の誇りの創出事業だと考えています。

団体名：特定非営利活動法人 島の風
代表者　納戸（のと）　義彦
住　所：沖縄県島尻郡
HPアドレス：http://www.shimanokaze.jp